

JSAF 外洋常任委員会 議事概要

2014年9月5日

文責：平井 昭光

日 時：平成26年6月14日（水） 16:45～19:00

場 所：岸記念体育館内 1階 スポーツマンクラブ

出 席：植松 JSAF 副会長、坂谷 JSAF 常務理事、剥岩理事、中澤理事、平松理事、餅理事
馬場理事、大島理事、鈴木保夫委員長、大村委員長、吉田委員長、三浦委員長、
大坪委員長、鈴木一行委員、平井理事
合計15名（以上、敬称略）

議事概要：

<植松副会長挨拶>

・先般、外洋会議を2月に行った。外洋会議は決議を行う機関として、そこに議案を上げるためのいろいろな議論を外洋常任委員会で行っていききたい。

<自由討議>

坂谷：今後の進め方を検討したい。組織図の確認、内規案の確認。いずれも外洋団体長会議で決定の予定。

大坪：委員長は会議に代理人を出せるのか検討してもらいたい。

鈴木：会計年度の趣旨についても確認してもらいたい。

植松：特別加盟団体は当面の間構成団体とせず、その在り方について今後検討していきたい。

吉田：常任委員会は理事会の2週間前に開催するのか。

坂谷：これはあくまで案なので、適宜招集にした方が良いのではないかな。

植松：団体長会議は定期に行った方が良いと思われる。しかし、常任委員会は不定期が良いのではないかな。

吉田：総務委員会と常任委員会の関係はどうなるのか？

坂谷：それは今後の課題と考える。

坂谷：ワーキンググループ組織表の説明を行う。

植松：組織及びビジョン策定WGは、加盟団体と特別加盟団体の関係について検討してもらいたい。艇登録制度WG、ジャパンカップ・オープンWGについては、馬場さんをお願いしたい。タモリカップなどのオープンレースについてどうするかも重要な検討課題と思う。保険制度WGについては、総務委員会で保険について突然話が上がってきた。外洋は保険金をもらうということもあり関係が大きい。

坂谷：タモリカップについて東海はやらないということとなった。やるのならIRCをやってオープンも併設なら形はつく。公示は少し修正を入れさせて頂いた。それを提案するので、修正が認められたら後援をしてもいいのではないかと考える。

鈴木：主催者は責任についてどのように考えているのか。

吉田：JSAFの姿勢は？

植松：どこまで緩くするのか、難しい。

大坪：公認とか後援するかとは、レース委員会の主管事項。申請内容に応じて決定する。

坂谷：去年は公認。でも、レース委員会は通っていない。

坂谷：デジタル化については、費用の半額を各加盟団体をお願いした。現在、各団体で協議している。

植松：なるべく支払いに応じてもらいたい。

鈴木：総務委員会で、艇登録の議論をした。実際に自分でやったら使い勝手が悪かった。田口さんが事務長、事務局のヒヤリングをすることとなった。艇登録は総務委員会が担当する。

植松：艇登録の公表の方も進めてもらいたい。

坂谷：鈴木委員長の範囲でやってもらいたい。

大坪：艇登録のシステムについて、安全委員会の要望を聞いてもらいたい。

坂谷：艇登録と予算の担当理事は植松副会長となる。

植松：ジャパンカップ・オープンレースは、担当理事馬場さん、メンバーは中澤さんをお願いしたい。

平松：私もメンバーに入る。会員増強の担当理事も大丈夫。

(担当の確認)

組織及びビジョン策定 WG：植松担当理事、平松グループリーダー、大村、平井、中澤、吉田、なお、WG 1にWG 6を含める。

ジャパンカップ・オープンレース WG：吉田、大坪、大村、三浦

WG 8：鈴木、餅、

保険制度 WG：坂谷、大島

吉田：外洋計測からのご報告。IRC 委員長が吉田から河井（外洋東海）へ変更となった。

IRC 計測において RORC で作ったソフトを使用している。RORC へはポンドで払う。よって、ポンド高で7万円赤字になっている。年末の更新から値上げを考えている。

10月の会長会議で承認をもらいたい。また、ORCANが業務を止める可能性もないとはいえないので、外洋計測でIMSの勉強会をすることを考えている。全日本ミドルの件。盛り上がっている。来年関東でお願いしたい。

坂谷：PLBの検討が動き始めた。近々、総務省で会議をする。

鈴木一行：国際委員会の活動内容のご紹介

以上